



高所作業車のご使用にあたって

■高所作業車のトラブルの70%は4点のトラブルがほとんどです。

バッテリーあがり〔充電不足〕

充電用コード内部切断

ガス欠〔燃料切れ〕

緊急停止ボタンの操作

バッテリーあがりの主な原因

〈高所作業車の場合〉

緊急停止ボタンでエンジンを停止した際に、メインキーをOFFにするのをうっかり忘れてしまう。

〈トラックマウントの場合〉

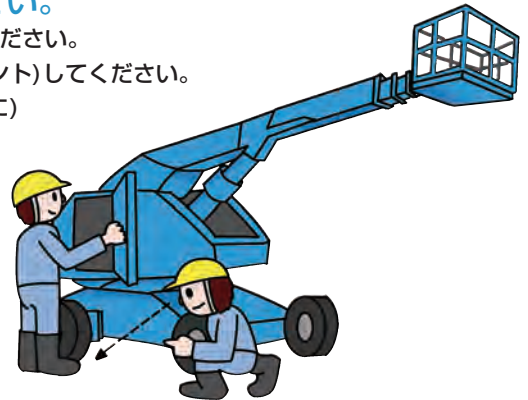
エアコンをつけたまま、または排気ブレーキをONにしたままで作業を行う。

当社のサービスマンに対応を依頼されますと有償となります。下記注意事項を守ってご使用ください。

■使用上の注意事項

安心して機械を使用いただくため次の点にご注意ください。

- (1) 短時間作業を連続する場合は、エンジンをかけっぱなしにして使用してください。
- (2) 作業中はエアコンを切ってください。排気ブレーキを解除(トラックマウント)してください。
- (3) 作業が終わったら、メインキーを抜いて保管してください。(規定の場所に)
- (4) 燃料は出来るだけ余裕をもって補給してください。(作業終了時に確認・報告)
- (5) バッテリー式の場合は充電を忘れずに行ってください。(ブレーカーのON:OFFの確認)
- (6) 充電を終了した後の、充電用コードの格納は定められた場所に必ず収納して作業を開始してください。
- (7) 規定の張り紙を確認の上、各タンクに補給ください。(作動油:燃料:水)



充電式高所作業車のバッテリー充電について

充電は作業後、毎日行ってください。

- (1) 充電には、使用作業時間に対し2倍以上の時間が必要です。
※作業後、直ちに充電することをおすすめします。
- (2) 充電開始前にバッテリー液はハイレベルまで補充してください。
※充電中はバッテリー液が極端に消耗・蒸発します。
※バッテリー液が不足した状態での充電では満充電できません。
- (3) 充電切れやバッテリー液の不足をおこすと、バッテリーの寿命が短くなります。
※動きが鈍くなったらすぐにバッテリー液の補充と充電をお願いします。
- (4) 充電には、100Vの電圧が必要です。
※電圧が97V以下では充電ができませんのでご注意ください。
- (5) タコ足配線はおやめください。
※タコ足配線により電圧が不足すると充電できません。
- (6) 充電用コードリールは引き伸ばしてご使用ください。
※巻いたままでは電気抵抗が発生し、電圧不足のため充電できません。



墜落制止用器具(フルハーネス型)のご使用にあたって

正しい装着方法について



①肩ベルト部に腕を通す



②胸バンドを連結する



③胸ベルトを締める



④腿ベルトを連結する



⑤肩ベルトの長さを調整する



⑥腿ベルトの長さを調節する



⑦胸バンドの長さを調節する



⑧装着完了

※実際に着用する場合には、使用するフルハーネス型安全帯の取扱説明書に従ってください

使用前の点検ポイント

ベルト

- ・切り傷、焼損、溶融、摩耗、擦り切れ、薬品・塗料の付着

縫製部

- ・1ヶ所以上の縫糸の切断。摩耗、ほつれ



バックル

- ・亀裂が生じているもの。
- ・ベルトのかみ合わせ部が著しく摩耗しているもの。
- ・全体的にさび(腐食)が発生しているもの、又は変形しているもの。
- ・正しく装着して、腹部に力を入れてベルトの緩むもの、又は動きの悪いもの。
- ・リベットのかしめ部に緩みやすり減りが生じているもの。

D環

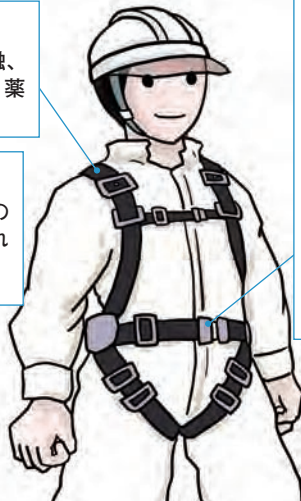
- ・亀裂が生じているもの。
- ・深さ1mm以上の傷のあるもの。
- ・目視で確認できる変形のあるもの。
- ・さびの激しいもの。

D環止め

- ・D環止めが割れ、D環が固定できないもの。

ランヤード

- ・ランヤードの摩耗、素線切れ、焼損、傷、変形、退色、ぬじれ。
- ・ショックアブソーバーとアイ加工部の状態



※一度でも大きな衝撃を受けた安全帯は、外観に変化がなくても再使用しないでください。

特別教育について

墜落制止用器具(フルハーネス型)を用いて、業務を行う者は特別教育を受講する必要があります。

学科科目				実技科目
I 作業に関する知識	II 墜落制止用器具(フルハーネス型のものに限る。以下同じ)に関する知識	III 労働災害の防止に関する知識	IV 関係法令	V 墜落制止用器具の使用方法等
1時間	2時間	1時間	0.5時間	1.5時間

参考:「正しく使おうフルハーネス」(建設業労働災害防止協会)